



じもと

HOLDINGS

きらやか銀行 仙台銀行

2013年3月期
ディスクロージャー誌

情報誌編

The Latest News



ごあいさつ

皆様には平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年10月、株式会社きらやか銀行（本店 山形市）と株式会社仙台銀行（本店 仙台市）は、共同持株会社の株式会社じもとホールディングスを設立し、経営統合いたしました。

私たち「じもとグループ」は、宮城県と山形県の「人・情報・産業」をつなぐ新たな金融グループとして、東日本大震災からの地域経済の復興、そして中小企業の皆様の発展に積極的に貢献することを経営方針としております。

今年度からは、地元中小企業の皆様への「本業支援」をグループの中長期的な経営戦略として掲げております。経営者の皆様のお話を傾聴し、事業発展に向けた様々なニーズや課題等を共有しながら一緒に考えて解決するべく、グループ役職員が一丸となって、人材育成や組織づくり、お客さまへの訪問活動等に取り組んでおります。

本ディスクロージャー誌では、「じもとグループ」の平成25年3月期の業績とともに、「本業支援」の様々な取り組み事例もご紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

皆様方におかれましては、今後とも「じもとグループ」にご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成25年7月

株式会社じもとホールディングス 取締役会長 鈴木 隆
取締役社長 粟野 学

じもとホールディングス

- 本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 設立年月日 平成24年10月1日
- 資本金 170億円
- 上場取引所 東京証券取引所



きらやか銀行

- 本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
- 電話番号 023-631-0001(代表)
- 設立年月日 平成19年5月7日
- 資本金 227億円
- 預金・譲渡性預金 12,414億円
- 貸出金 9,318億円
- 従業員数 935名
- 店舗数 117カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は80カ店(うち出張所3カ店)(県内63カ店、県外17カ店)、インターネット支店を除く。
- ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>



仙台銀行

- 本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 電話番号 022-225-8241(代表)
- 設立年月日 昭和26年5月25日
- 資本金 224億85百万円
- 預金・譲渡性預金 9,640億円
- 貸出金 5,573億円
- 従業員数 729名
- 店舗数 72カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は61カ店(うち出張所4カ店)。
- ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



(平成25年3月31日現在)

Contents

ごあいさつ・会社概要	巻頭
じもとグループの経営計画	02
じもとグループが取り組む“本業支援”	03
じもとトピックス	04
じもとホールディングス 業績ハイライト	05
じもと・じまん特集 第2弾	06
CSRへの取り組み	08
地域の皆様とともに	
きらやか銀行の本業支援	10
トピックス	11
仙台銀行の本業支援	12
トピックス	13
業績ハイライト	
きらやか銀行	14
仙台銀行	16



本ディスクロージャー誌・表紙では、じもとグループの様々な“かお”をお届けしております。

また、中心(ロゴマーク内)の写真は、宮城と山形の県境に位置する蔵王連峰であり、季節により多彩な表情を見せます。

私たちじもとホールディングスは、蔵王連峰のように、宮城と山形をつなぐ架け橋となり、皆様とともに進化・発展してまいります。

TOP MESSAGE



じもとホールディングスは、今年度から“本業支援”をグループの中長期的戦略と位置づけ、その仕組みづくり、人材育成、お客さま支援などに取り組んでおります。「お客さまの話を徹底的にお聴きする」、そして「お客さまの課題解決に向け組織全員で動く」

この本業支援を、じもとホールディングスならではの特徴とすべく、組織的・継続的に行うことで、お客さまから喜んで頂き、ひいては地域の発展にも貢献していくことを最終目的として全力を尽くしてまいります。

株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取
栗野 学

東日本大震災からの復興が一段と本格化しています。また、じもとホールディングスは発足後、順調に業績が推移していますが、地域金融機関の競争環境はさらに厳しさを増しています。

こうした中、この度、当社会長に就任しました重責をしっかりと受け止め、地域経済の復興と発展に尽力してまいります所存でございます。

きらやか銀行と仙台銀行は、じもとグループとして県境を超えて連携し、グループ総力を挙げて本業支援、復興支援に積極的に取り組んでまいります。じもとホールディングスにぜひご期待ください。

株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆



じもとホールディングスでは、当社の経営方針や両行の経営状況をご理解いただくために、IR（インベスターリレーションズ）を定期的に開催しております。

平成25年3月期IR（平成25年7月開催）のハイライト映像をホームページでご覧いただけます。

<http://www.jimoto-hd.co.jp/disclosure/ir.html>

IR開催日程はホームページ（じもとホールディングス・きらやか銀行・仙台銀行）でご案内致します。ぜひお越しください。

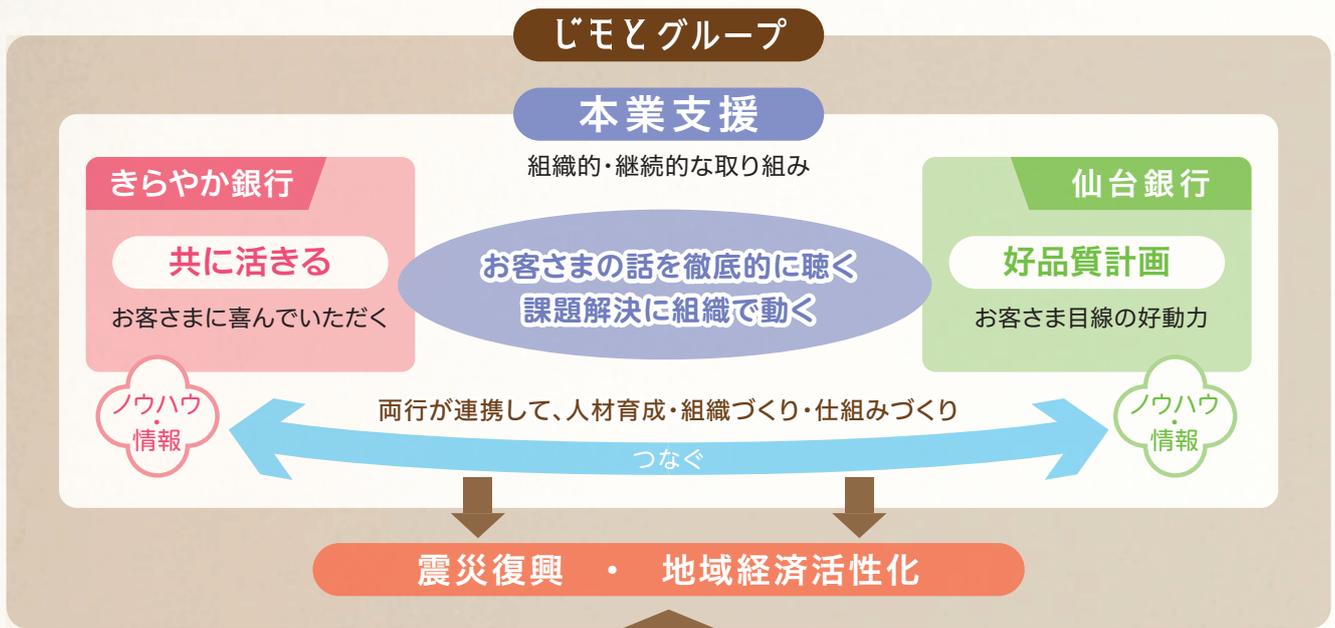
じもとグループの経営計画

じもとグループの中長期的な戦略展開

中小企業の皆様のためにできること = 【本業支援】を両行で展開

じもとグループは、人材育成や組織づくりを計画的に進め、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、中小企業のお客さまへの「本業支援」を中長期的に展開してまいります。

お客さまの経営課題を徹底的にお聴きし、グループをあげて課題解決に向けて取り組み、復興支援やビジネスマッチング等を通じ、地域経済の復興と発展に貢献する方針です。



じもとグループのじもとを元気にする4つの戦略

じもと復興戦略

1
被災地の金融グループとして両行の力を結集し、大震災からの復興応援に全力で取り組みます。

- 資金供給機能の強化
- 復興応援イベントの開催
- 外部機関との連携強化
- 生活再建サポートの強化
- 事業再建サポートの強化

じもと経済活性化戦略

2
両行の情報をつなぐことで、商流の形成に取り組んでまいります。また、両行のノウハウを融合・活用することで、産業再生と活性化に貢献してまいります。

- 商流形成
- ビジネスマッチング
- お客さまへの有益情報の提供
- 産業再生・活性化に貢献

商品・サービス向上戦略

3
じもとに対する想いを形にし、お客さまに喜ばれる特色ある共同商品の開発やサービスの向上を図ってまいります。

- 商品の充実
- ネット、チャネルの強化
- イベント、セミナーの充実
- 各種手数料の優遇

経営資源の効率的配分戦略

4
本部機能の集約や事務機能の共同化等により、徹底した経営効率化に取り組み、創出した経営資源を効果的に配分することで、永続的にじもとを元気にする力を発揮してまいります。

- じもとを元気にする力の発揮
- 震災復興応援
- 成長地域への人員投入
- 成長分野への積極的投資
- お客さまとのコミュニケーションの深化

じもとグループが取り組む“本業支援”

～お客さまの経営課題を解決するために、私たちはともに考え、行動します～

voice

中小企業のために力を尽くすこと

「世のため、人のため」は、銀行に勤務する私のモチベーションです。

現在、平成25年4月に新設された本業支援推進部に所属し、営業店と一緒に中小企業の皆様が抱える経営課題に取り組んでおります。

お客さまの喜びが銀行員としての喜びであり、これからもお客さまのために力を尽くしていきたい。



きらやか銀行
営業本部 本業支援推進部
小林 祐介 副調査役

voice

お客さまの最高の笑顔を見るために

「お客さまの最高の笑顔が見たい」、これが本業支援に取り組む最大の理由です。

私たちは、お客さまの経営に対する必死さに応えるべく、同じ悩みを抱え、同じ汗を流し、同じ目標に向かって本業支援を行っています。

これからもお客さまとともに歩んでまいります。



きらやか銀行
東京支店
佐藤 広也 代理

課題や問題点について
お客さまと共に
考えます

voice

沿岸部の水産業復興を支援

東日本大震災の復興事業が本格化する今、お客さまが抱える課題は多種多様です。私は水産業経営アドバイザーとして、お客さまの復興ニーズを的確に把握・分析し、将来の水産業を見据えた事業計画の策定・実現を支援しています。復興に向けて、「あきらめない」精神で、水産業の復興と活性化に取り組んでいきます。



仙台銀行
地元企業応援部推進室
須藤 淳 主任
(水産業経営アドバイザー)

voice

みやぎの農業発展に貢献

宮城県の重要な基幹産業であり、私たちの生活基盤でもある「食」や「農業」を応援したいとの思いで農業経営アドバイザーの資格を取得しました。6次産業化など新たな経営基盤づくりを目指す農業経営者と一緒に考えて行動し、「みやぎ」の農業発展に一生懸命貢献してまいります。



仙台銀行
地元企業応援部企画室
田井 富士子
(農業経営アドバイザー)

「ふるさと宮城」の
復興に向けて
全力で応援します

じもとトピックス

宮城と山形をつなぎ 新たな商流形成を支援

じもとグループは、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、お取引先の商機拡大を支援するなど、県境を超えた新たな商流形成に取り組んでおります。

両行の情報コーディネーターは、営業店から収集したビジネスニーズに関する情報を相互に共有・活用し、これまでに復興工事の共同事業者を求めている仙台銀行のお取引先に、きらやか銀行のお取引先をご紹介するなど、県境を超えたビジネスマッチングが多数成立しております。



ビジネスニーズを収集し両行で情報を共有化

両行の協調融資で 被災地の早期復興を積極支援

じもとグループは、被災地の早期復興を支援するため、被災地における大型設備再建に向けた大口資金需要に対しても、両行による協調融資等で積極的に支援しています。

これまでに両行は、震災で多くの高齢者向け介護施設が被災した石巻市に新たな介護施設を計画する企業に対して建設資金を協調融資で支援しました。

今後もグループの力を結集して、復興に取り組んでまいります。



被災地の介護施設を支援

じもとグループ合同企画第2弾！ 「東北の夏、じもとの夏」キャンペーン

きらやか銀行と仙台銀行は、グループ合同企画第2弾として、平成25年6月10日より「東北の夏、じもとの夏」キャンペーンを実施しております。

期間中に対象商品をご契約されたお客さまの中から抽選で200名様に、宮城・山形じまんの「朝ごはんセット」や「スイーツセット」をプレゼントいたします。また、先着1万名様にじもとホールディングスロゴ入りのオリジナルグラスをプレゼントしております。(平成25年8月16日まで)



クレジットカード・キャンペーン 収益金の一部を宮城県の復興へ寄付

じもとグループは、ユーシーカード(株)と共同で、「地元復興応援キャンペーン」(平成24年10月1日～12月31日)を開催し、提携クレジットカードの利用額に応じて、抽選で宮城・山形の特産品を利用者にプレゼントいたしました。

当キャンペーンの収益金の一部は、被災地復興に活用していただくため宮城県に寄付し、平成25年3月に宮城県庁で贈呈式が行われました。



宮城県庁での贈呈式

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円)

	25年3月期
経常収益	33,838
経常利益	2,036
当期純利益	1,950

平成24年10月1日のじもとホールディングスの設立に際して、企業結合会計上の取得企業をきらやか銀行としたため、平成25年3月期の連結経営成績は、きらやか銀行の連結経営成績を基礎に、仙台銀行の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの連結経営成績を連結したのものとなっております。

平成25年3月期の連結業績は、経常収益が338億38百万円、経常利益が20億36百万円、当期純利益が19億50百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

(単位:百万円)

	2行合算		
	24年3月期	25年3月期	前期比
経常収益	40,545	43,727	3,181
業務粗利益	31,816	33,937	2,120
経費(除く臨時処理分)	26,734	25,595	△1,139
業務純益	4,435	9,076	4,641
コア業務純益	6,237	7,835	1,597
経常利益	△6,615	3,573	10,189
当期純利益	△7,968	3,424	11,392
貸出金	1,443,449	1,489,194	45,745
預金等(譲渡性預金を含む)	2,054,198	2,205,421	151,222
有価証券	626,824	694,515	67,691

2行合算の経常収益は、前年同期比31億81百万円増加の437億27百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の増加や物件費の減少等により、前年同期比15億97百万円増加の78億35百万円となりました。

経常利益は前年同期比101億89百万円増加の35億73百万円、当期純利益は前年同期比113億92百万円増加の34億24百万円となりました。

果物王国山形

1



きらやか銀行美原町支店
主任
本間 陽子

夏に美味しい庄内メロンは、
とろける程甘くとってもジューシー!

【Profile】
お客さまサービス担当。お客さまの話にじっくり耳を傾けて一人一人のニーズに合った『最適提案』と、明るく相談しやすい窓口作りを行っています!



2

尾花沢の夏スイカは生産量日本一!!
風味も甘さも日本一!!

【Profile】
入行3年目の法人兼個人渉外担当。大好きな地元、山形にひとつでも多くの笑顔が溢れるじもとなるように日々営業活動に励んでいます。




きらやか銀行尾花沢支店
法人兼個人渉外
加藤 慶一

3



きらやか銀行
さくらんぼ東根支店
青野 佑梨

山形といえばさくらんぼ。さわやかな
甘酸っぱさが口いっぱいに広がります。

【Profile】
お客さまサービス担当。お客さまが笑顔でお帰りいただけるような窓口を目指し、「最適提案」を行っています。



4

ラ・フランスの上品な香りにとろけるような
おいしさは、まさに「果物の女王」です。

【Profile】
法人渉外担当。「お客さま第一主義」をモットーに、お客さまの経営課題を共に考え解決できるようスピード感ある営業を心掛けています。




きらやか銀行高畠支店
渉外課長
野口 龍大



水産物王国宮城



1

夏が旬!肉厚で甘みが強い「気仙沼産ほや」
ホヤぼーやも気仙沼の食をPR!

仙台銀行気仙沼支店
大浦 裕太

【Profile】

出納担当。被災地にある支店として被災者の目線に立ち、これからさらに本格化する復興支援に全力で取り組んでまいります。



がんばれ気仙沼



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

登米市

南三陸町志津川湾で育った
甘くて風味豊かな「志津川産ホタテ貝」

加美町

大和町



【Profile】

窓口担当。お客さまからの「仙台銀行にきてよかった」「ありがとう」という言葉に支えられ、日々業務を頑張っております。



2

仙台銀行
津山支店兼志津川支店
佐々木 あざみ

仙台市

養殖銀鮭の漁獲高日本一!
豊かな海で育ち、味も日本一!!

3



仙台銀行
中里支店兼雄勝支店
安倍 優

【Profile】

窓口担当。お客さまへの気配り、目配り、心配りの気持ちを忘れず、常に明るく笑顔で業務に取り組んでおります。



白石市

角田市

丸森町

魚の町・水産練り製品加工が盛ん!
塩釜市特産品「かまぼこ」

4



【Profile】

入行12年目で現在は渉外担当。常に親身でスピーディーな対応を心掛け、お客さまに喜んでもらえるように頑張ります。



仙台銀行塩釜支店
支店長代理
結城 繁将

写真提供:宮城県観光課

CSRへの取り組み

きらやか銀行

きらやか経営者セミナーの開催

平成25年6月に「第4回きらやか経営者セミナー」を開催いたしました。当行では、全営業店のお取引先経営者及び後継者等を対象に、著名講師による講演会と懇親パーティーを開催しました。このセミナーは、今後の企業経営のヒントとなるような研修の場を提供すると共に、当行とお客さま同士の交流を通して、当行が掲げる「お客様と共に生きる」の具現化を図ることを目的としています。セミナーは2日間の日程で行われ、参加者は550人を越えました。

【セミナー講師陣】

- 読売テレビ報道局
岩田 公雄 氏
- ㈱サニーテーブル
高橋 滋 氏
- 女優・歌手
浅岡 ルリ子 氏
- ブックオフコーポレーション㈱
橋本 真由美 氏



地域の教育を支援 「財団法人 きらやか銀行教育福祉振興基金」

財団法人 きらやか銀行教育福祉振興基金は教育・学術の振興及び社会福祉、交通安全施設・生活環境の拡充整備等に助成を行い教育水準の向上並びに地域社会に貢献することを目的としております。

なかでも「くらしの文集」発刊はくらしを見つめ、考えたことや感じたこと、経験したことなどを文章にすることによって子供たちの生活に潤いを持たせ、表現力の向上を図ることを目的としております。「くらしの文集」発刊は平成24年度で30周年を迎えました。



「くらしの文集」贈呈

じもとのスポーツ振興活性化 きらやか銀行硬式野球部

きらやか銀行硬式野球部は、業務との両立を図りながら精力的に活動しております。夏季は都市対抗野球大会や社会人野球日本選手権に向け連日練習に励み、山形県のスポーツ振興の活性化の一翼を担っております。また、冬季は小・中・高・大学生を対象とした野球教室を行うなど、積極的に地域のスポーツ振興に寄与しております。



第19回JABA東北地区連盟会長旗争奪野球大会優勝 (写真提供:毎日新聞様)

地域社会発展への貢献 モンテディオ山形へチーム強化費を贈呈

きらやか銀行は、平成24年3月より取扱い致しました「モンテディオ山形応援定期預金2012」において、預入残高の0.01%相当額をモンテディオ山形へチーム強化費として寄贈いたしました。贈呈式当日は当行がマッチデースポンサーとなり「きらやか銀行GO!GO!応援マッチ」を開催し、試合を盛り上げました。きらやか銀行はこれからも様々な形でモンテディオ山形を応援してまいります。



モンテディオ山形へチーム強化費贈呈

仙台銀行

移動店舗「どこでも窓口」 被災地を巡回営業中

当行では、沿岸部の営業店が津波で全壊し、現地での店舗再開に至っていない地区があることから、トラックを改良した移動店舗「どこでも窓口」を導入し、津波被災地での巡回営業を行っております。

この「どこでも窓口」には、簡易窓口とATMを搭載しており、現在、石巻市（雄勝地区）と南三陸町（歌津地区、志津川地区）の3地区を毎週巡回し、被災地のお客さまの利便性回復に努めております。



津波被災地を巡回「どこでも窓口」

宮城の経済復興を強力支援 地元企業応援部

当行の地元企業応援部は、被災企業への様々な復興支援に取り組む専門部署であり、現在、企画室・サポート室・推進室の3室、60名体制で復興支援に取り組んでおります。

仙台本店のほか、古川分室、岩沼分室、石巻分室、佐沼分室を設け、各分室には、事業再生担当と復興融資担当の職員が常駐しております。石巻や岩沼など、津波被災地に支援拠点を設置することで、被災企業の復興相談等にきめ細やかに対応しております。



復興支援専門部署「地元企業応援部」

被災地の住民活動を支援 公益信託「まちづくり基金」

当行は、公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を通じて、被災地の住民コミュニティ再生など、地域の復興に向けて積極的に活動しているまちづくり団体や個人の方々に助成金を交付し支援しております。

平成24年度は、被災地復興に取り組む団体を含む10先に対して、総額100万円を助成いたしました。平成25年度の助成金申込みは、平成25年4月から9月末まで、当行本支店窓口で受付けております。



平成24年度助成先 南町二区街創り勉強会

宮城の若手経営者を育成 仙台銀行ビジネスクラブ

当行取引先で構成する仙台銀行ビジネスクラブは、ビジネスセミナーや交流会、商談会等を通じて、宮城の若手経営者や企業後継者の育成に取り組み、会員企業の事業継承・発展に積極的に貢献しております。

平成25年2月に仙台市で開催した「第15回講演会・交流会」には会員335名が参加。企業PR展示に30社、「食」をテーマにした試食品・食品展示には6社が出席し、会員間でのビジネスマッチング商談が行われました。

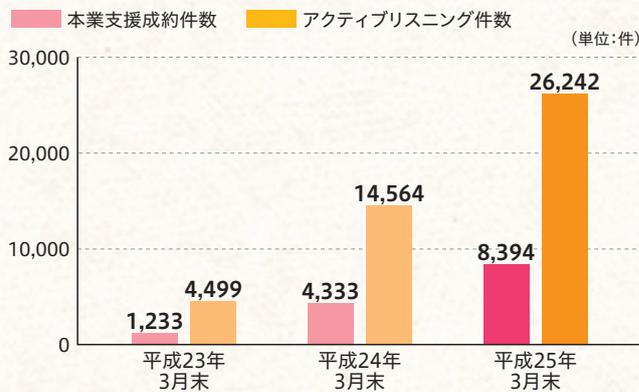


平成25年2月開催「講演会・交流会」

地域の皆様とともに

きらやか銀行の本業支援

● 本業支援成約件数・アクティブリスニング件数累計



当行では、「本業支援」の本質は、経営者の方から、アクティブリスニング（企業の問題点・課題・悩みをお聴きし、共有する活動）を通してお聴きした事業ニーズと一緒に考え解決することで、お客さまに喜んでいただくことにあると考えております。このアクティブリスニングによる本業支援は、じもとグループとして当行及び仙台銀行の両行が長期的戦略として、全行員が組織的かつ継続的に取り組んでおります。

取り組み事例

被災地復興を手掛けるお取引先への本業支援

当行では、地域の皆さまと共に“活きる”を経営方針に掲げ、本業支援を組織的に展開しております。今回は、「被災地復興を手掛けるお取引先への本業支援」の事例をご紹介します。

お取引先

A社(大手鋼材メーカー関連不動産業者)

強み: 独自工法による短納期・ローコストが可能 販路: 岩手県

当行の発想

宮城県(被災地)の
住環境整備に繋がらないか?

これにより
<A社>の独自工法を活かした復興支援の促進に繋がるのではないかと

そこで

<A社>に対し、集団移転促進事業策定に携わる<B社>へのプレゼンの場を設定

マッチング成約

マッチングが成約したことにより、<A社>グループ企業の東北営業拠点となっている<C社>(当行お取引先)の売上も増加。

A社 -WIN!

岩手県のみならず宮城県の販路拡大に繋がった

B社 -WIN!

被災地において、短納期・ローコストが絶対条件の中A社の独自工法のおかげで地方公共団体からの受注拡大

C社 -WIN!

A社の販路拡大により売上増加(地元の雇用も確保)

3社がWIN-WINの関係を構築して、復興住宅の整備に大きく貢献できた。



トピックス

地域密着型金融に対する取り組みで顕彰

当行は、平成25年3月に、東北財務局より「平成24年度地域密着型金融に関する取り組み」で特に先進的でモデルとなる取り組みを行っている金融機関として顕彰されました。顕彰を受けたのは「アクティブリスニングによる本業支援」と「子会社を活用した事業再生支援への取り組み」です。当行はこれからも「地域の皆さまと共に“生きる”」を経営方針とし、地域経済の活性化に一層貢献するべく、お客さまから“もっともっと喜ばれる銀行”を目指してまいります。



東北財務局より顕彰

本業支援をさらに強化。4月に本部組織を改編

当行は、平成25年4月に、当行の営業施策の柱である「アクティブリスニングによる本業支援」を軸とした中小企業融資推進を強化するべく、営業推進部門を中心に、本部の組織改編を実施しました。また、仙台銀行との連携を強化し、仙山圏におけるお客さま同士の仲介機能を拡充するため、「仙台法人営業部」を新設しました。

今後も当行は、じもとグループの戦略であるじもとと経済活性化に向けて取り組んでまいります。



新設した仙台法人営業部

地域の企業の皆さまと共に“生きる”本業支援 ホームページ特設サイト

当行では、地域の皆さまと共に“生きる”を経営方針とし、お客さまの経営課題を共有しながら共に解決する「本業支援」に取り組んでいます。

平成25年5月からのテレビCMでは、お客さまの実際の声を紹介し、当行が目指す「お客さまの想い」を形にする本業支援の取り組みを表現しています。また、ホームページに特設サイト「生きる」を開設し、これまでの当行の本業支援に対する取り組みを掲載しております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



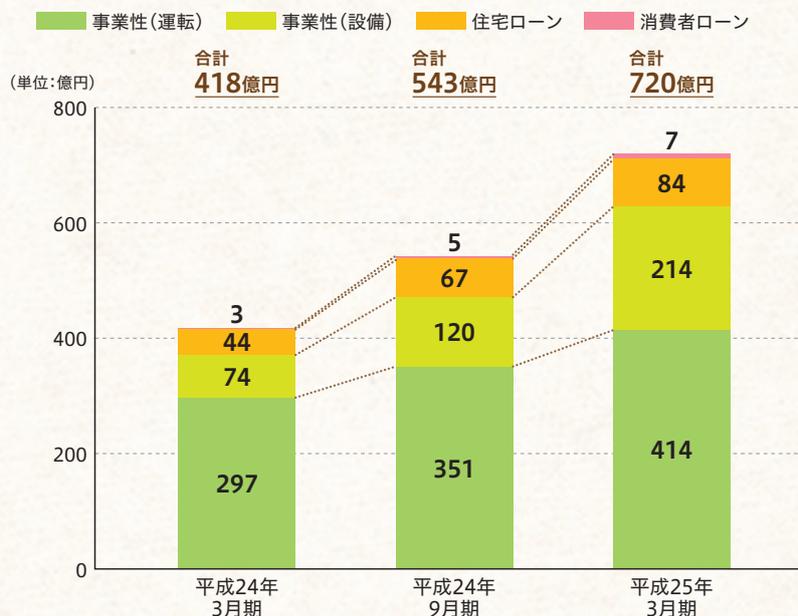
きらやか銀行ホームページ「生きる」特設サイト

<http://www.kirayaka.co.jp/ikiru/>

地域の皆様とともに

仙台銀行の本業支援

●被災者向け新規融資実行額累計



当行は、東日本大震災の発生直後から、被災されたお取引先の早期復興に向けて、様々な資金需要に積極的に取り組んでいます。平成25年3月末までの被災者向け新規融資実行額は2,948件720億円となりました。

また、中小企業診断士や不動産鑑定士、農業経営アドバイザー等が、多様な復興ニーズを踏まえ、きらやか銀行とも連携し、協調融資やDDS（既存債務の劣後ローン転換）等の資金支援、二重ローンご相談、アグリビジネス支援等に取り組んでいます。

取り組み事例

石巻・牡蠣養殖業者の「6次産業化」復興を支援

宮城県石巻市狐崎浜地区は、県内でも良質な牡蠣養殖産地でしたが、震災の津波により養殖施設や漁船が壊滅的な被害を受けました。

こうした中、被災した牡蠣養殖個人事業者6名が立ち上がり、自らの生産物を自らが加工・販売する6次産業化を目指した共同出資法人「宮城県狐崎水産6次化販売」を設立しました。

当行は、営業店と地元企業応援部（水産業経営アドバイザー）が連携し、事業計画策定をサポート、牡蠣加工場の建設資金と運転資金を融資しました。

当法人では牡蠣の出荷・販売を再開しており、この取り組みは、漁業復興の新たなビジネスモデル、被災地雇用の受け皿として期待が高まっています。

【企業概要】

企業名：株式会社宮城県狐崎水産6次化販売
 事業内容：牡蠣等水産物の養殖・加工・販売
 所在地：宮城県石巻市狐崎浜
 設立年月日：平成24年7月5日



トピックス

復興支援に向けて被災店舗をリニューアル

●大河原支店、塩釜支店が新たにオープン

大河原支店（宮城県大河原町）は、震災で地震による被害を受けたことから、平成25年6月に同町内に移転のうえ、新築オープンしました。新店舗には、ゆとりある駐車スペースや各種相談コーナーを設け、お客さまの利便性をさらに高めました。

同じく被災した塩釜支店（宮城県塩釜市）は、仮店舗で営業していましたが、平成25年7月に新店舗が完成し、オープンしました。

また、苦竹支店（仙台市宮城野区）は、現在新築建替え工事を進めており、平成25年度中にオープンする予定です。

●被災地・南三陸町への店舗再出店を決定

当行は、本格化する沿岸部の復興をさらに支援するため、平成25年度内を目途に南三陸町志津川地区に新店舗を建設予定です。この新店舗には、震災後、町外で営業している志津川支店と歌津支店を移転・同居させ、南三陸町での窓口営業を再開する方針です。

また、国分町支店（仙台市青葉区）を平成25年9月に近隣の本店営業部内へ移転・統合する予定であり、これにより人材などの経営資源を復興支援に一層集中させる方針です。



新築オープンした大河原支店



新築オープンした塩釜支店

新オンラインシステムが稼動。金融サービスをさらに充実

当行は、平成25年5月より、NTTデータが提供する地方銀行・第二地方銀行向けの共同センター「STELLA CUBE®」へ移行し、新オンラインシステムでの業務を開始しました。

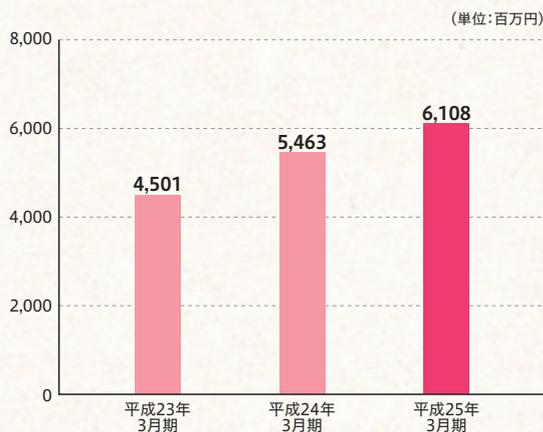
このシステムは、バックアップセンターや優れた拡張性を有しており、当行は、一層充実した金融サービスを安定的に提供してまいります。

なお、きらやか銀行も、平成27年5月に同システムへ移行する予定であり、じもとグループ全体での業務効率化を実現してまいります。

業績ハイライト(単体)

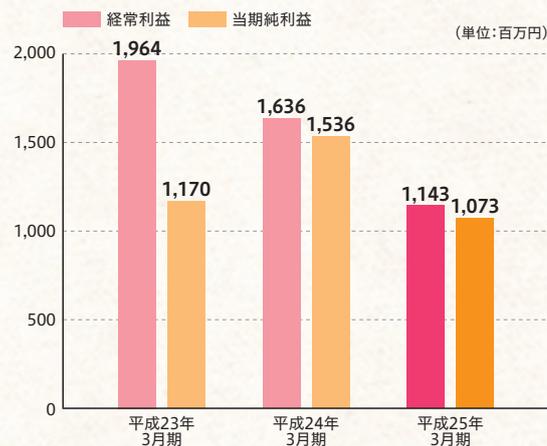
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、物件費の減少等により、前年同期比6億44百万円増加の61億8百万円となりました。



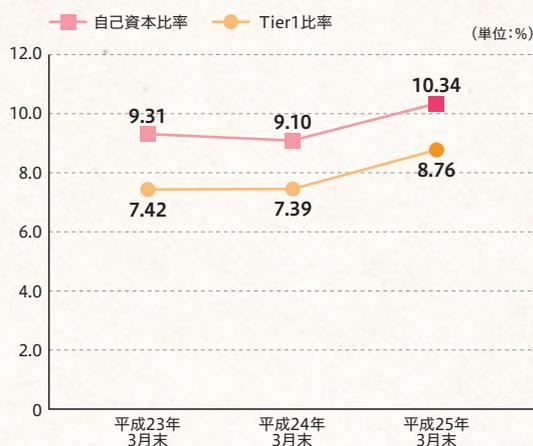
経常利益・当期純利益の状況

経常利益及び当期純利益は、事業再生専門子会社による積極的な企業支援に取り組み、子会社による個別貸倒引当金を前倒しで計上したため、それぞれ前年同期比4億92百万円減少の11億43百万円、前年同期比4億62百万円減少の10億73百万円となりました。



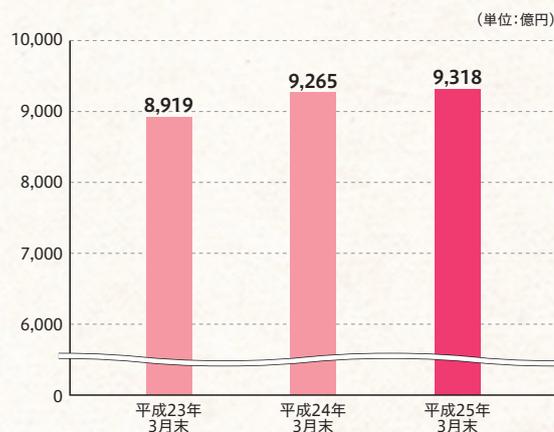
自己資本比率の状況

自己資本比率は、24年12月に震災特例の金融機能強化法に基づく資本増強を実施したことから、前年同期比1.24ポイント上昇の10.34%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、前年同期比52億73百万円増加の9,318億67百万円となりました。(事業再生専門子会社に移管しました貸出債権125億59百万円を考慮しますと、実質178億32百万円の増加となりました。)

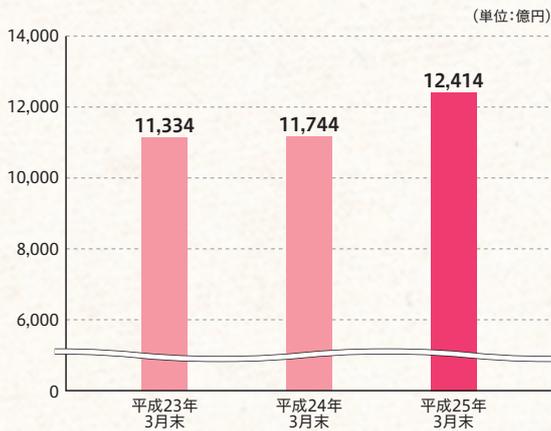


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

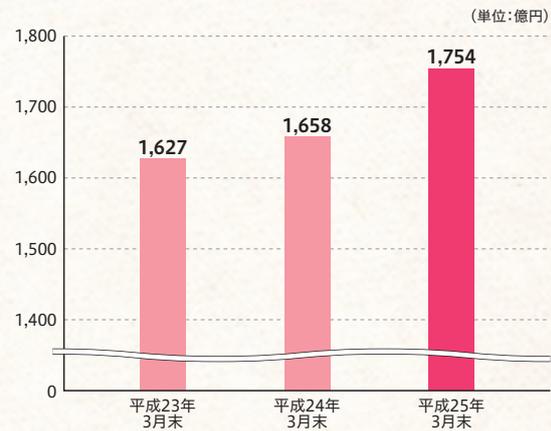
預金(譲渡性預金含む)の状況

預金残高は、個人預金・法人預金・公金預金の全てが増加したことにより、前年同期比669億19百万円増加の1兆2,414億10百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、前年同期比95億11百万円増加の1,754億8百万円となりました。

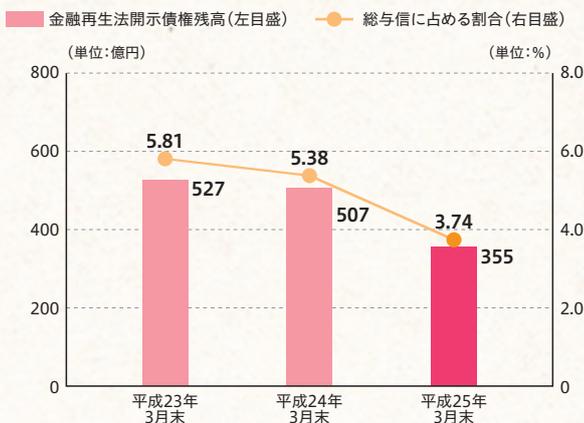


金融再生法開示債権の状況

平成25年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成24年5月に当行100%子会社である「きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)」へ貸出債権125億59百万円を移管したこと等から、前年同期比151億35百万円減少し、355億99百万円となりました。

今後も引き続き、お取引企業に対する財務内容改善等ノウハウの提供に関する経営支援、経営指導をこれまで以上に強化し、資産の健全化に努めてまいります。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



当行は、平成23年2月、取引先企業再生支援のためのコンサルティング機能の発揮及び強化を目指し、完全子会社となるきらやかターンアラウンド・パートナーズ株式会社を設立、平成24年5月、当行が所管する貸出債権125億59百万円を会社分割により承継いたしました。平成25年3月末現在における同社との連結開示債権残高は404億42百万円で開示債権比率は4.23%となります。

なお、同社は、平成24年3月、日本政策投資銀行と資本及び業務提携に関する協定書を締結し、企業再生支援機能を強化するとともに人材の育成を図ることによって地域経済の活性化を目指しております。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

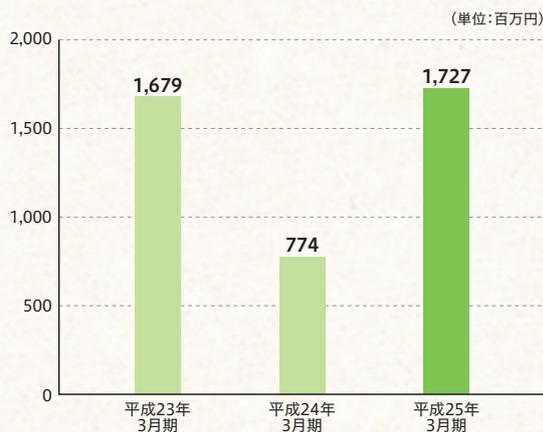
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

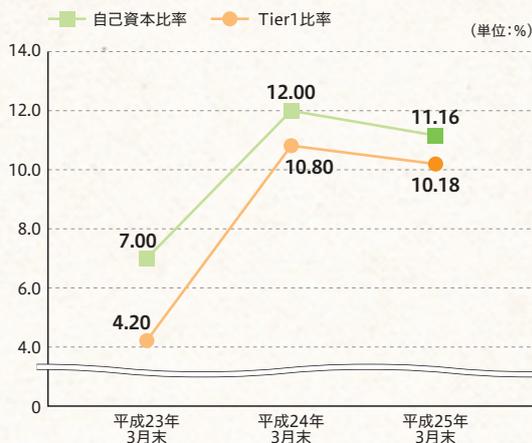
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したことや物件費が減少したことなどから、前年同期比9億52百万円増加の17億27百万円となりました。



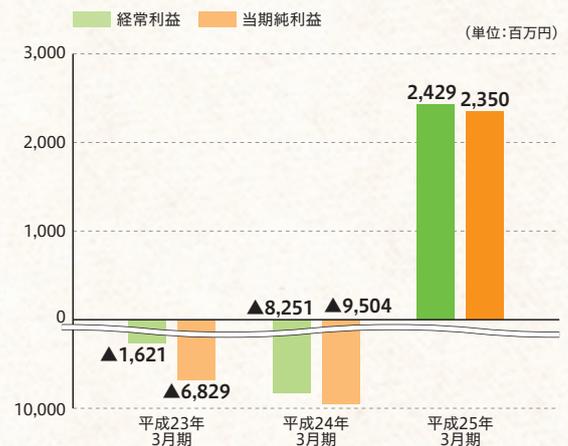
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益23億50百万円の計上により自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、前年同期比0.84ポイント低下の11.16%となりました。



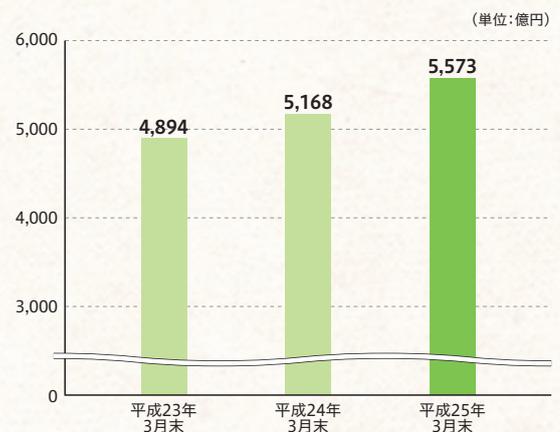
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、コア業務純益が増加したことや貸倒引当金戻入益21億30百万円を計上したことなどから、前年同期比106億81百万円増加の24億29百万円、当期純利益は、前年同期比118億55百万円増加の23億50百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要に積極的に対応し、中小企業向け貸出残高が増加したことなどから、前年同期比404億71百万円増加の5,573億27百万円となりました。

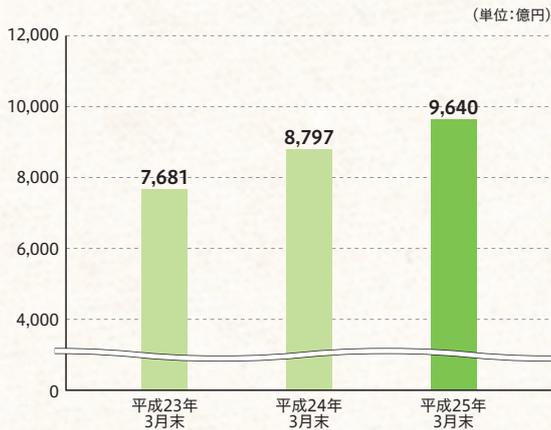


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

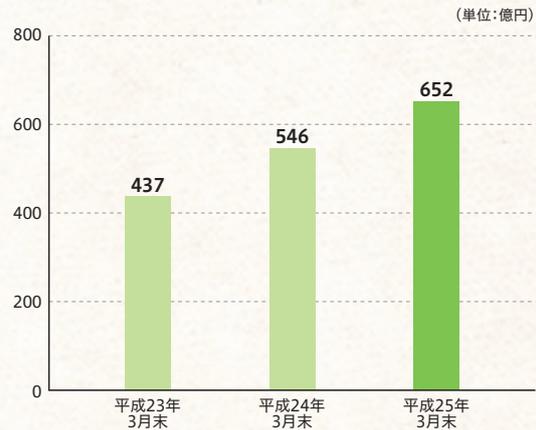
預金(譲渡性預金含む)の状況

預金残高は、被災者の住宅修繕など復興資金としての払出等により個人預金が減少しましたが、法人預金や公金預金が増加したことから、前年同期比843億3百万円増加の9,640億11百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により、生命保険残高が増加したことなどから、前年同期比106億37百万円増加の652億87百万円となりました。

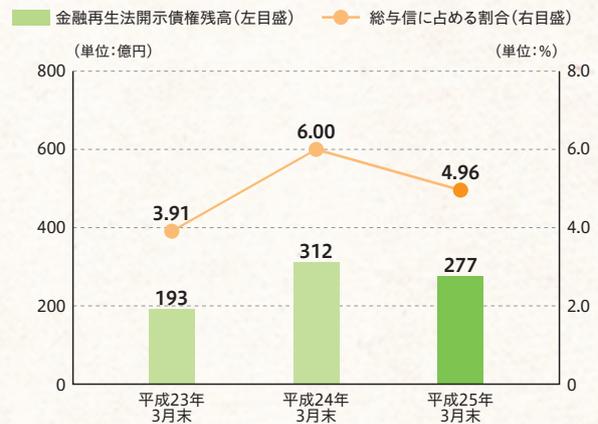


金融再生法開示債権の状況

平成25年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、前年同期比34億30百万円減少し、277億99百万円、総与信に占める割合は1.04ポイント低下の4.96%となりました。

今後も引き続き、お取引企業に対する財務内容改善等ノウハウの提供に係る経営支援、経営指導をこれまで以上に強化し、資産の健全化に努めてまいります。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



地方発!『食の魅力』発見プロジェクト2013



鳥海山の夏



移動店舗「仙台銀行どこでも窓口」



都市対抗野球
東北大会 in 青森



石巻 狐崎浜



じもとグループ
新入行員合同研修



きらやかさん代表
水の天使

ホームページのご案内

じもとホールディングス

<http://www.jimoto-hd.co.jp/>



じもとホールディングスの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報をご覧いただけます。

きらやか銀行

<http://www.kirayaka.co.jp/>



取扱商品、サービスやキャンペーンのお知らせからさまざまな情報を詳細かつスピーディーに掲載しております。また、全国的にも大人気のインターネット専用支店もご利用いただけます。

仙台銀行

<http://www.sendaibank.co.jp/>



各種商品、サービス、セミナーのご案内等多彩な情報をタイムリーに掲載しております。また、営業店レターでは仙台銀行のある街のとおきのおき情報をお届けしています。

株式会社 じもとホールディングス 総合企画部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行 経営企画部

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
Tel.023-631-0001(代表)
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行 企画部

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-225-8241(代表)
<http://www.sendaibank.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

※2013年3月期の詳細な財務データにつきましては、
「2013年3月期ディスクロージャー誌本編」をご覧ください。